

大阪市立 瓜破北小学校



住所 〒547-0024 大阪市平野区瓜破 1-8-33

連絡先 ☎ 06-6709-0360 ☎ 06-6799-0464

校長 松本 守隆

開校 昭和 44年

URL <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e751731>

教育目標(校訓)

「強く 正しく」

重点目標

「豊かな心と生きる力を育む教育活動を推進する。」

教育方針(めざす子ども像)

- ・自ら学習し、正しく判断できる子ども
- ・進んで心身をきたえるたくましい子ども
- ・自他を尊重し、自ら進んで協力する子ども
- ・情操豊かで、思いやりのある子ども
- ・ねばり強くものごとに取り組み、最後までやりぬく子ども

運営に関する計画

【概要】

様々な教育活動を通して、多くの成功体験や達成感を伴う体験学習や指導法の工夫をさらに図り、自尊感情を高めるために、道徳心・社会性の育成に継続して取り組む。

安全・安心な学校をめざし、避難訓練を含めた防災・減災教育の取り組みの充実を図り、幼小連携・小中連携や地域・保護者との連携による防災訓練を継続し、自己と他者の命とともに大切に守り共存していくという意識を育て、安全教育の充実に努める。

【中期目標】

【安全・安心な教育の推進】

- 令和11年度末の児童アンケート調査で、次の各項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を令和7年度より5%以上、増加させる。
 - ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」
 - ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」
 - ・「自分にはよいところがありますか」

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和11年度末の児童アンケート調査で、次の各項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を令和7年度より4%以上、増加させる。
 - ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」
 - ・「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」
- 令和11年度末の小学校学力経年調査における算数の平均正答率7割未満の児童の割合を、令和7年度より5ポイント減少させる。(第4学年の平均で比較 令和7年度41.5ポイント)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和11年度末の児童アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友達と共有したり比べたりしていますか」に対して、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を65%以上にする。(令和7年度60.8%)
- 教員の働き方改革に関する目標を「学校における働き方改革アクションプラン【2026-2029】に基づき、次の項目の目標を達成させる。
 - ・時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。

【年度目標】

【安全・安心な教育の推進】

- 令和8年度末の児童アンケート調査で、次の各項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合において約2%増加をめざす。
 - ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」(R7 80.8%)
 - ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」(R7 67.8%)
 - ・「自分にはよいところがありますか」(R7 79.2%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和8年度末の児童アンケート調査で、次の各項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合において約1%増加をめざす。
 - ・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」(R7 69.1%)
 - ・「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」(R7 82.4%)
- 令和8年度末の小学校学力経年調査における算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。(R7 3年0.77 4年0.87 5年0.74)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和8年度末の児童アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友達と共有したり比べたりしていますか」に対して、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を62%以上にする。(R7 60.8%)
- 教員の働き方改革に関する目標を「学校における働き方改革アクションプラン【2026-2029】に基づき、次の項目の目標を達成させる。
 - ・時間外勤務時間について、年720時間を超えて実施する教員をゼロにする。

校長先生からのメッセージ

本校は昭和44年に瓜破小学校から分離独立し、今年で創立58周年を迎えました。本校の校舎配置には特徴があり、南北の校舎の中央にプールが位置しています。玄関や講堂前の花壇には、四季折々の花が学校を彩っています。そのような整備された環境の中、全校児童293名が元気に学校生活を送っています。本年度は、「算数」を重点教科に据え、「基礎基本の定着・個の力を伸ばす指導法の工夫」を研究主題として算数科を中心に学力の向上を図っています。さらに、自尊感情を高めることも、教育活動の柱としています。学習面では、児童一人一人の基礎・基本の定着を大切にした学習方法・学習形態を工夫しながら学力の向上に取り組んでいます。教室での学習だけでなく、縦割り活動や地域とのふれあい活動、様々な体験活動等、あらゆる機会を通して、豊かな心や自分も他の人も大切にできる心を育んでいます。今後も地域や保護者の皆様と連携し、教職員一同子どもたちの健やかな成長のために尽力してまいりますので、本校の教育活動推進にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校長 松本 守隆

R7年度「全国学力・学習状況調査」

国語	算数	理科	
49	46	42	平均正答率(%)

●結果と概要／

〔国語〕大阪市平均より「我が国の言語文化に関する事項」では15.1ポイント、「書くこと」の領域では19.8ポイントと、共に大阪市平均より15ポイント以上下回った。「情報の扱い方に関する事項」では4.8ポイント、「話すこと・聞くこと」の領域では9.1ポイント下回る程度にとどまった。特に正答率が低かったのは「読むこと」の領域で、20ポイント以上下回った。また、今年度は無解答率が高く、諦めてしまう傾向が顕著であった。

〔算数〕「数と計算」領域では12.9ポイント、「図形」領域では15.2ポイント、「データの活用」領域では12.6ポイント、大阪市平均より下回った。「変化と関係」領域では5.7ポイント下回る程度にとどまり、問題に答えようとする意欲がみられ無回答率は低かった。今年度は、算数科を中心とした指導研究を実施し、大阪市総合教育センターのスクールアドバイザーに授業参観、指導助言等を行っていただき、教員の指導力向上に努める。

〔理科〕大阪市平均より13ポイント下回った。自分の考えをもって学習に取り組み、それを適切に表現できるように指導する必要がある。そして、学習で得た知識を活用し、理解を深めることが大切である。

●取組の成果と課題／

今年度より、算数科で「基礎基本の定着・個の力を伸ばす指導法の工夫」を研究主題とし、学習の定着を図り、個の力の育成に努めていく。そのためには、今後も大阪市総合教育センターのスクールアドバイザー助言のもと、教材研究、指導案検討、授業参観、指導助言等を通して、教員の更なる指導力向上を推進していく。また、学力向上支援事業では、2・3年生の国語・算数を重点に置き、国算学びサポーターと共に、児童へのきめ細かな支援が継続できるように取り組んでいく。国語科においては、表現活動を中心に論理的思考力を働かせて自分の考えが記述できるような指導を実践していく。

教員の研修体験を強化し、日々の授業実践の交流を深めるなど、指導力向上に努めていく。併せて、家庭・地域との連携を図りながら、教育活動を広く展開することにより、学校の教育力向上、児童の学力向上を推進していく。また、豊かな心の育成にも積極的に取り組んでいる。「いじめ・いのちについて考える日」などで啓発したり、常に「いじめは絶対に許されないことである」ということを繰り返し伝えたりして、継続して意識づけていく。体験活動や外部講師による出前授業も積極的に行ったりすることで、豊かな心の育成に繋げている。

R7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	合計 得点(点)
男子	14.23	20.04	29.65	46.17	49.65	9.24	141.63	22.00	52.20
女子	13.69	18.90	35.87	43.13	43.00	9.75	133.60	12.37	53.86

●取組の成果と課題／

体力テストを全学年で実施することで、自分の体力・運動能力に興味を持ち、意欲的に体力向上の意識を高めることができた。体育科の授業では、児童の実態に合わせて活動内容を工夫したり、各学年で「なわとびカード」や「マラソンカード」等、学習内容に合わせたカードを活用したりすることで、児童が自分のがんばりや課題について認識し、体力向上の意識が高まる様子がみられた。また、学級ごとに「みんな遊び」を積極的にに行い、教師も一緒になって児童と過ごすことで、多くの児童が運動場や体育館で身体を動かしている。学校全体では、業間なわとびの時間を設定することにより体力向上の意識が高まった。さらに、トップアスリートによる「夢授業」では、6年生は「フットサル」の楽しさや技術を学び、サッカーが苦手な児童も楽しく学習できた。5年生は「タグラグビー」の授業を元全日本ラグビー選手による授業を実施した。技術面だけではなくみんなで協力して取り組み応援する姿勢を学ぶことができた。4年生は「ティーボール」でオリックスの選手による学習を実施し、児童が楽しく野球に親しむことができた。

また、質問紙の結果より、朝ご飯を食べずに登校する児童が多く、「テレビやスマートフォン」の視聴時間が多いという実態を受け止め、減少させたい。

●結果と概要／

体力合計点は、男子は8項目のうち5項目、全国平均・大阪市平均どちらも上回る結果となった。体力合計点は、全国平均には0.82点届かなかったが、大阪市平均を0.66点上回ることができた。女子も4項目が、全国平均・大阪市平均のどちらも上回る結果となった。体力合計点は、全国平均にはわずかに0.11点届かなかったが、大阪市平均を1.28点上回ることができた。反復横とびは、男女共に全国平均・大阪市平均を大きく上回る結果となり、また、男子50m走、女子20mシャトルランでは、全国平均・大阪市平均を大きく上回る結果となった。

児童質問紙の「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目に肯定的に回答した児童の割合は、男子91.7%で全国平均・大阪市平均を下回ったが、女子90.3%で全国平均・大阪市平均を上回る結果となった。一週間の総運動時間が420分以上の女子児童の割合が、全国平均・大阪市平均を上回った。今後も、運動時間を増加させられる取り組みが必要である。

学校の特徴

瓜北フェスティバル

クラスごとに自分たちで考え、ゲーム等の出し物をする。児童は縦割り班でいろいろなクラスを回ります。高学年の児童は低学年の児童を引率し、説明をしたり、いっしょに遊んだりします。子どもたちのお祭りということで、準備から片付けまで自分たちが行います。



地域とのふれあい活動

低学年を中心に地域の方々とふれあい活動を行っています。1年生は昔遊びを教えていただき、楽しく遊びます。2年生は集会所でポッチャを教えていただきました。



作品展

本校では毎年作品展を行います。全学年の作品が講堂に展示されます。どの児童も工夫した楽しい作品になっています。1年生から6年生までの作品を一堂に展示することで、児童の成長の過程も感じられます。



クリーンキャンペーン

通学路など学校の内外を分担を決めて清掃活動を行っています。子どもたちは熱心に掃除をし、毎年たくさんのごみを集め、町をきれいにする意識を高めています。

